



1981/12 NO.155





56年度県予算案の提案理由説明で活力ある富山県づくりを……とのべる中沖知事



富山県のパネルを紹介しながら 将来を語り合う中沖知事

# 活力ある富山県づくりをめざして

55.11 ~ 56.10

- 昨年十一月九日、歴代四十六代、四十人目の中沖豊富山県知事が誕生してから一年が経過しました。清潔・公正、県民に向かって開かれた「さわやか県政」を基調とする「活力ある富山県づくり」を基本的な政策として、
- 1 魅力ある郷土づくり
  - 2 活力ある産業づくり
  - 3 明日を拓く人づくり
- の三つの政策を柱に、県政を推進してきました。

未曾有といわれた56年豪雪を、県民の不撓不屈の精神と協力で克服し、全国的にも初めての雪に強い無雪害モデル県作りを進めてまいります。

また、県立近代美術館や健康増進センターなどの継続事業は次々と完成を見ました。

一方、懸案であった富山空港拡張整備事業の着手、小矢部川流域下水道問題の前進をはじめ、就任一年目に当る十一月十日には、県民待望の「北陸新幹線優先着工」の朗報が伝えられるなど、難問題の解決をみました。

新施策として、二十一世紀に向かつての技術立県構想をたて、テクノポリスをめざして、「活力ある総合計画」や「置県百年記念事業」にも、県民総ぐるみで知恵を出し、創意と工夫を凝らした富山県政は着々と推進されております。

この一年を写真で紹介いたします。

## 県立近代美術館収蔵美術品紹介⑨

〈ジャズ〉より

### 「ピエロの埋葬」(表紙)

アンリ・マチス作  
(1947年)ステンシル紙  
38.1センチ×61.0センチ

ピカソと並び称される二〇世紀絵画の巨匠アンリ・マチス(二八六九―一九五四・仏)は、ピカソがキュビズムを代表する作家であるのに対して、フォーヴィスムの中心的存在であるといえよう。

しかし、マチスの生涯にわたる作品をみてみると、どちらかといえば落ち着いて静かなムードが漂うものが多いようだ。マチス自身の言葉を借りれば、彼は「肉体の疲労をいやす快い肘掛椅子の役割」を果たすものとして自己の芸術を考えていた。



〈ジャズ〉より

### 「水族館遊泳者」

研究として重要であった。それが一九三〇年代に、己の芸術でデッサンと油絵が統合されずに悩んでいたマチスに一つの解答を与えた。つまり、彩色された色紙から形を切り取ることで、色をつける行為を省くというこ

とである。切り紙絵は線の色に、輪郭を表面に結びつけるのである。「ジャズ」では、まさに色彩が量感をも表現しており、形態、色彩、装飾性が見事に統合されている。

こうして、マチスは「ジャズ」以来、切り紙絵という独自の表現形式を見出し、その後、絵画や彫刻を制作することはなかった。絵画や彫刻の問題や興味が、すべて切り紙によって解消されていたからである。

(学芸員・田中玲子)

また、マチスは対象を厳しくみつめ、制作においては例え対象とは似ても似つかぬものを描こうと、その対象をしっかりと記憶にとどめておかねばならないと考えていた。注意深い、敬虔な自然の観察という態度は「ジャズ」の制作にも貫かれている。

「ジャズ」は晩年、マチスが大病をわずらった後、肉体的な負担の少ない切り紙絵の手法で表現した作品である。「ジャズ」には、サーカスのテーマが数多く出てくるが(「ピエロの埋葬」もその一つ)、題名もはじめは「ジャズ」か「サーカス」かということだつたらしい。

〈ジャズ〉より

### 「コドマス」



## 12月号

●もくじ

県立近代美術館収蔵美術品紹介⑨(ジャズ)より「ピエロの埋葬」	表1・2
活力ある富山県づくりをめざして	1~8
雪の備え、万全ですか?	9~13
観どころ味じまん	14~15
⑨富山市「県民会館内山分館」	
青年・婦人のリーダーに成長しました	16~20
ことしの海外派遣事業を終えて	
特産の里紹介シリーズ④	21
小中学生の力作が勢ぞろい	22
私たちの壁画展—県立近代美術館—	

工業統計など3調査が行われます	22
野鳥たちにマイホームを	23
やさしい巣箱のつくり方	
緑り上げと緑り下げ	23
あなたはどちらを選びますか?	
こちら消費生活センターです	24~25
トビックス・県政の動き・お知らせ	26~27
みなさんと県庁のパイプ役	28
心身障害者福祉施設・学校紹介	表3
あなたは冬山登山の適格者か?	表4

# 魅力ある郷土づくり

「猛威をふるった56年豪雪」雪に負けないで共に頑張りましょう」と  
県民を励ます知事



▲ 90年以上も未確定だった朝日・宇奈月両町の境界線も知事の仲介で一気に解決  
▼ 植樹祭の心は県民に深く浸透し緑の少年団も大はりきり



▼ まちまわりで大門名物「大風」づくりを見学



▲ “身近な自然の再発見”をテーマに自然博物館センター「ねいの里」がオープン

▲ “県民の知恵”の審査など総合計画にアイデアを出してもらおう「県政アイデア委員会」(座長、池田弥三郎洗足学園主任教授)を設立



▲ 県民のみなさんとひざを交えて語り合う「知事と語るつどい」「知事のまちまわり」を順次開催  
▼ 県政物価バス教室では家計をあずかる主婦たちが物価流通のしくみを学習



富山県は、豊かで変化に富む自然があり、多くの可能性をもった郷土です。この可能性を生かし、魅力ある郷土を築いていくことは、活力ある県づくりの基本です。

郷土づくりの基礎として、まず、県土全体の利用の可能性を一層高めるための交通体系の整備が大切です。このため、北陸新幹線の早期着工、富山空港の拡充、北陸自動車道の早期完成など県外とつながる広域交通体系の整備に努めると同時に、県内の道路網などについても一層の拡充を図るとともに、雪に強い交通網の整備を図り「総合交通体系」の確立を目指します。

都市整備については、住民、関係者の参加協力を得て、多様な機能をもった魅力ある都市づくりを進め、県民の多様なニーズに応えるとともに、様々な都市型産業が育つことを目指します。また、住宅、下水道、公園などの生活環境施設の整備にも努め、安全で便利で快適な県民生活を目指します。

豊かな自然は、県民生活に安全と潤いをもたらす大切な資源です。治山・治水事業に今後とも力を注ぐとともに、自然観察やレクリエーションのための多様な施設の整備を図り、県民が自然に新しみ、自然に学ぶ環境づくりを目指します。



- ▲ 文化・経済を大きく左右する北陸自動車道は黒部・朝日へと伸びる(朝日I.C.附近)
- ▶ 59年早春に中型ジェット機を就航させようと急ピッチで拡張整備される富山空港
- ◀ 緑で街をいっぱいにとサツキの苗木を無料配付



# 活力ある産業づくり

安定した県民生活を維持し、県民福祉をさらに増進していくためには、県内産業を活力あるものにし、働く場所を確保する必要があります。

農林水産業では、高い生産性をもち、足腰の強い、魅力ある産業にしていけることが課題です。とくに農業では、農地の流動化によって規模の拡大を図り、米づくりを基本として商品性の高い特産物生産、畜産などを組み合わせた「複合農業の確立」を目指します。

工業では、付加価値の高い技術先端産業化が課題です。高い技術力をもった企業の導入と、県内企業の先端技術化が必要です。先端技術企業、大学、研究機関が一体となったテクノポリス構想の実現に努めるとともに、県内企業のエレクトロニクス化、産学・異業種間の技術交流の促進を図り、「技術立県」を目指します。

第三次産業では「都市の賑(にぎわ)いづくり」「観光立県」が課題です。都市景観の充実、買物空間の個性化、劇場、博物館、

スポーツ施設などの質の高い都市型公共施設の整備に努めるとともに、富山県ならではの自然と伝統、地域の産業とが結びついた個性的な観光空間の創造を目指します。



▲大雪で心配されたが、今のところ順調…と麦づくりにかける農家の声がヒシヒシ



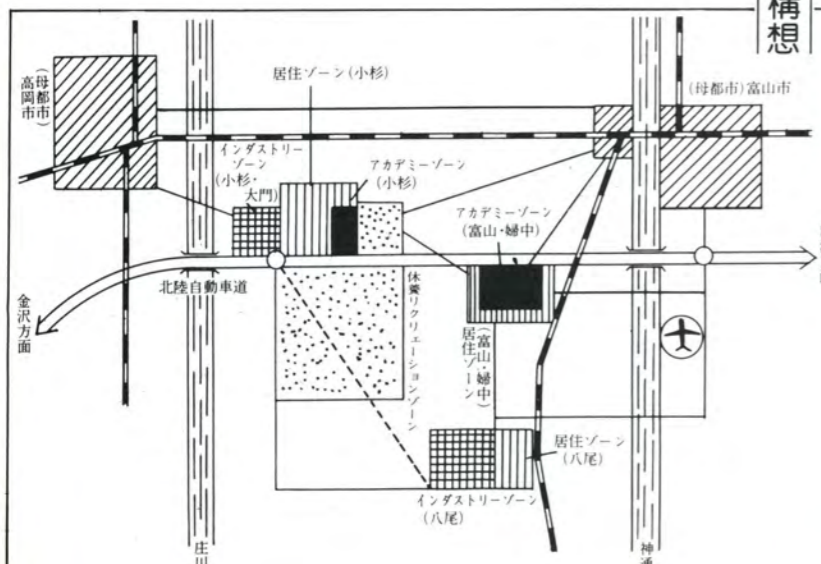
▲テクノ・ポリスの一翼を担う八尾中核工業団地の造成は急ピッチで進んでいる  
▼家族旅行村のオープンで、立山山ろくレクリエーション基地は北陸でも最大級の規模内容を備えた



▲工業用ロボット、エレクトロニクス化など県内企業の技術先端化が進む



▶テクノポリス視察団一行に富山ハイランドテクノポリスについて現地説明



## テクノポリス構想

区	分		事業着手・完成している要素	今後の整備の方向
	ゾインダストリー	ゾアカデミー		
小杉地区	八尾・富山・婦中地区	小杉地区	太閤山ニュータウン	既成市街地等
八尾地区	富山・婦中地区	富山・婦中地区	富山流通業務団地 (54年度より造成着手)	富山県立技術短大、衛生研究所、公害センター、木材試験場
小杉・大門地区	富山・婦中地区	富山・婦中地区	富山八尾中核工業団地 (55年度より造成着手)	富山医科大学
				富山県立技術短大、衛生研究所、公害センター、木材試験場
				工業系4年制大学の整備、工業技術センター構想の具体化などを図る。
				テクノポリスの居住ゾーンとして、文化的諸機能の整備などを図る。
				広域的流通拠点としての整備及び先端技術産業の導入を図る。
				エレクトロニクス、ファイブテクノロジーなど先端技術産業の導入を図る。
				大学の機能充実と、関連の民間研究所の誘致などを図る。

▼県内40カ所を「特産の里」に指定し地域特産物の振興を図る



▲移転改築となった砺波園芸分場 最新鋭の機器を駆使して試験研究が行われている  
▼「ことしのでき具合はどうか?」雪の被害から立ち直ろうとする呉羽の梨園を視察



特産なごいもの里



▶ 心身障害者たちが生き生きと職場参加を果たしている姿は国際障害者年の大きな成果の一つ(新湊市・渋谷刺繍)



▲ 開発途上国への技術協力の一環として海外技術研修生の受け入れを行っている  
▼ 未来を担う少年たちに海への関心と理解を高めてもらおうと開催された「少年海洋教室」(立山丸船上で)



▲ 21世紀を展望する「県民のいこいの場」としての近代美術館は、県内外の注目を集めながら堂々のオープン

▼ 「開かれた知事室」を小学生たちが見学



青年の翼は、欧州から「明日の富山を担う気概」というみやげを運んできた

▼ 国際的視野をもった婦人活動の指導者養生を目的に ことしから始めた「婦人の翼」



に、健康増進センター、総合体育館などの施設整備により、健康増進、スポーツ振興に努めます。

福祉施設は年々整備が進んでおりますが、同時に、今後はお年寄りや身体の不自由な方々が、家族や近所の人々に囲まれながら、地域で安心して生活できるような、思いやりのある地域社会づくりが大切であると考えます。

▼ まちまわりで訪門した黒部学園「この子たちに明るい未来を」と福祉行政に新たな決意



「学歴社会から学習社会へ」ということがいわれていますが、生涯学習センターを核として、

健康は充実した生活の前提条件ですが、高齢化社会に対応した保健医療の確立を図るとともに

県民一人一人が人間性豊かで充実した生活をおくり、明日の富山県を築いていくには、人づくり(教育文化、福祉医療の充実)が肝心です。

高等教育機関の整備充実や児童生徒の健全育成はもとより、創造性豊かで実践力に富んだ、明日の富山県を担って国際時代に活躍できる若人を育てたいと思います。

また、風土と伝統を生かした「文化のふるさとづくり」に努め、積極的な文化交流により、地域に根ざしながら世界に開かれた県民文化の振興を目指します。

▼ 110万人の健康増進基地としてオープンした「健康増進センター」



いつでも、どこでも、多様な分野を親しみやすく学べる体制づくりに努めます。

▶ 高齢化社会への対応は総合計画の大きなテーマの一つ(流杉老人ホーム)



# 雪の備え、万全ですか？

雪の季節がやってきました。あたり一面銀世界——というのは雪国ならではの風情ともいえますが、降り過ぎるのも困りもの。気象台の発表した長期予報（11月20日現在）によりますと、この冬の前半には時々強い季節風が吹き、大雪の降ることもあるとのことです。

さて、雪国富山に住み、56年豪雪と闘ったあなた、準備万端整っていますか？

雪の季節がやってきました。あたり一面銀世界——というのは雪国ならではの風情ともいえますが、降り過ぎるのも困りもの。気象台の発表した長期予報（11月20日現在）によりますと、この冬の前半には時々強い季節風が吹き、大雪の降ることもあるとのことです。

さて、雪国富山に住み、56年豪雪と闘ったあなた、準備万端整っていますか？

雪の季節がやってきました。あたり一面銀世界——というのは雪国ならではの風情ともいえますが、降り過ぎるのも困りもの。気象台の発表した長期予報（11月20日現在）によりますと、この冬の前半には時々強い季節風が吹き、大雪の降ることもあるとのことです。

## 雪に強い県士づくりへ

雪に強い県士づくりへ

雪に強い県士づくりへ

### 世論調査結果を踏まえて

世論調査結果を踏まえて

世論調査結果を踏まえて

#### 調査の項目

- 1) 除排雪の状況
- 2) 被害の状況
- 3) 地域ぐるみ除排雪の状況
- 4) 生徒の除排雪作業等
- 5) ひとり暮らし老人等の除排雪について
- 6) 幹線道路の除雪状況
- 7) 豪雪期の交通機関の状況
- 8) 豪雪時の生活必需品の購入状況
- 9) 豪雪の情報
- 10) 県の施策に対する要望
- 11) 対象者の県への提言

#### 調査の設計

- 1) 調査地域 富山県全域
- 2) 調査対象 満20歳～満69歳迄の男女
- 3) 標本数 1,200人
- 4) 抽出方法 層化副次無作為抽出法
- 5) 調査期間 昭和56年3月10日～同年3月31日
- 6) 調査方法 調査員による個別面接調査

#### 回収の状況

- 1) 標本数 1,200 (100.0%)
- 2) 回収数 1,131 (94.3%)

## 昭和55年11月から56年10月までの県の主な行事等抜すい

年月日	行事及び事績	月日	行事及び事績
55年		2	自然博物館センター「ねいの里」開園
11月	9 県知事選に初当選 11 知事、初登庁 27 富山八尾中核工業団地造成工事着手	3	県営総合体育センター用地取得で調印
12月	1 利賀少年自然の家完成 2 県営布施川ダム用地取得で調印 4 富山市水橋の新設高校用地取得で調印 6 12月定例県議会を開会（～16日） 19 知事、早朝の生鮮食料品市場を視察 19 北陸自動車道富山～滑川が開通 22 県政に関する知恵・職員提案募集 22 カドミ汚染田復元客土買収で調印 30 富山空港拡張計画用地取得で調印	3	県政物産バス教室がスタート
56年		4	通産省が富山県をテクノポリス基本構想調査地域に指定
1月	5 昭和56年度重要要望事項予算化状況発表（達成率96.9%） 6 雪害対策本部設置 10 政府豪雪調査団来県（原国土庁長官ほか） 12 雪害対策本部自衛隊出動を要請 14 「地域ぐるみ除排雪運動」を提唱し、市町村へ除排雪経費を助成 20 消費生活条例を施行 21 衆議院災害対策特別委員会調査団来県 30 中小企業研修センターが竣工	4	富山児童相談所移転竣工
2月	1 庄川町に本田ロック工場進出 4 参議院災害対策特別委員会調査団来県 19 科学技術庁豪雪研究会開催 21 小矢部川流域下水道用地取得で調印 23 海洋総合利用対策調査委員会初会合 25 富山市呉羽、福岡町の新設2高校の用地取得で調印 28 2月定例県議会を開会（～3月20日） 28 初の「婦人美術展」開幕	10	広域林道大牧線全線開通
3月	1 砺波市に摂津板紙進出 10 雪対策研究基金創設 19 産業廃棄物交換コーナーを設置 20 雪害対策本部を解散 25 北陸自動車道魚津～朝日間用地取得で調印 27 朝日・宇奈月両町境界線決定書を交付 27 県政功労・文化功労者を表彰	11	総合雪対策研究会が発足
4月	1 県知事公室内に「総合計画室」を設置 1 生涯学習センターオープン 2 企業誘致推進本部を設置 3 市町村長会議を開催 6 開かれた知事室を小学生らが見学 20 「知事のまちなまり」知事と語るつどい利賀村でスタート 21 平・上平村で「まちなまり」と「つどい」	12	生涯教育推進協議会が発足
5月	6 県政バス教室がスタート 6 中国養鳥市（富山市姉妹都市）代表団表敬 15 富山市呉羽、魚津市吉島果樹園まわり 18 「婦人の明日をひらく富山県行動計画」を決定 19 黒部市で「まちなまり」と「つどい」 23 「知事公舎」を「知事公館」に改称し、一般に開放 29 県営かんがい排水、ほ場整備完・起工式（山田川合口ほか）	13	総合計画基礎課題研究会が発足（以後、課題別研究会を順次開催）
6月		16	57年度、政府等に対する県の重要要望事項を、地元選出国會議員に説明（東京）
7月		19	6月定例県議会を開会（～30日）
8月		1	活力県政へ県民の知恵を募集
9月		1	海外技術研修生が知事を表敬
10月		3	英国大使コータッチ氏、知事を表敬
		4	県立近代美術館開館記念式典（開館は5日）
		6	日本科学技術情報センター名古屋支所北陸連絡所を開設
		7	立山山ろく家族旅行村が開村
		10	日沿連総会（東京）
		11	ポートピア富山県の日（神戸）
		15	高山本線強化促進同盟会総会
		20	西独青年代表団、知事を表敬
		22	大沢野警察署が完成
		27	ブロック別市長長懇談会砺波市でスタート
		28	大門、大島町で「まちなまり」と「つどい」
		29	国鉄重点販売宣伝地域指定推進協議会が発足
		29	知事の立ち合いで富山化学がクラレ跡地を買収
		30	第1回「少年海洋教室」を開催
		4	国道304号梨谷大橋完成、五箇山トンネル着工（平村）
		7	農業試験場砺波園芸分場移転完成
		25	富山県健康増進センター完成（9月1日オープン）
		26	第1回「婦人の翼」欧州へ
		28	知事の立ち合いで藤沢薬品が興人跡地を買収
		3	滑川市で「まちなまり」と「つどい」
		5	北陸新幹線建設促進懇談会（金沢）
		8	富山ブロック市町村長懇談会
		9	国体夏季大会結団社行式
		14	北方領土返還要求全国キャラバン隊表敬（メッセージ交換）
		14	テクノポリス推進協議会が発足
		19	9月定例県議会を開会（～29日）
		20	青年の翼（一般部門）結団式
		24	県政アイデア委員会が発足
		29	「青年の翼」（一般部門）欧州へ
		1	置県100年記念事業推進事務局を設置
		14	「青年の翼」（農業部門）アメリカ、カナダへ
		14	中小企業団体全国大会開催（富山）
		14	テクノポリス建設構想委員会が発足
		15	全国連合小学校長研究協議会富山大会
		17	大規模林道大山～福光線起工（利賀村）
		19	産業展示館57年建設着工を決定
		20	置県100年記念事業推進県民会議発起人会
		21	高等教育機関整備推進委員会が発足
		22	全国身障者スポーツ大会結団社行式
		25	塩川運輸大臣、中川科学技術庁長官ら来県
		25	デンマーク大使ベア・グロツ夫妻、知事を表敬
		26	井波・庄川町で「まちなまり」と「つどい」
		28	農林漁業功労者を表彰
		28	新川ブロック市町村長会議



▲地域ぐるみ除排雪が県下随所でみうけられた(写真は八尾町)

除排雪は「地域住民が話し合  
って「隣近所が  
協力して」行う  
べきだとの意見  
が多いことから  
— 県や市町村  
の対策が必要なのはもちろ  
んですが — 「自  
分のまちを愛  
し、自分たちの  
まちの人を愛す

▼56年豪雪は生活 産業にも大きな被害をもたらした(写真は押しつぶされた工場の倉庫)



相互扶助が大切といえるのではないのでしょうか。(図3)

### 生鮮食料品、灯油の確保

生鮮食料品や暖房用燃料など 確保されなかったため、品不足にはな  
りませんでした。(図4) また、

## 除排雪 半数は地域ぐるみで

生活道路や通学路そして公民館など地域で共用している部分の除排雪は、自治会や町内会で  
行なうと答えた人が約半数  
ありました。(図1) ことしのよ  
うな豪雪になりますと、団地や  
住宅密集地などでは排雪場所が  
狭く、屋根雪を道路に下す結果、  
救急車や消防車など緊急自動車  
の進入を妨げることもなりま

## 除排雪は話し合いと協力で

「自分の雪は自分で処理」す  
るのが原則ともいえますが、な  
かには一人暮らしの老人世帯や母  
子世帯、身体障害者世帯など自  
力ではどうしても屋根雪おろし  
ました。

をできない世帯があります。こ  
この豪雪には自治会や青年団、  
学生グループなどの手で、これ  
らの世帯の除排雪奉仕が行われ

す。そこで、一月中旬には「一  
斉除排雪デー」を設けて、地域

「自分たちの生活圏を自分た  
ちで守るのはよいこと」と考え  
ておられるのは心強い限りです。

上げて、県の考え方やことしの  
雪対策について紹介しましょう。

ぐるみで計画的に行いました。  
このことについて七割近くの人が

図1 地域ぐるみ除排雪の有無

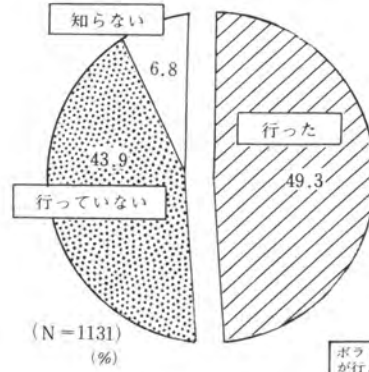


図2 地域ぐるみ除排雪運動に対する考え

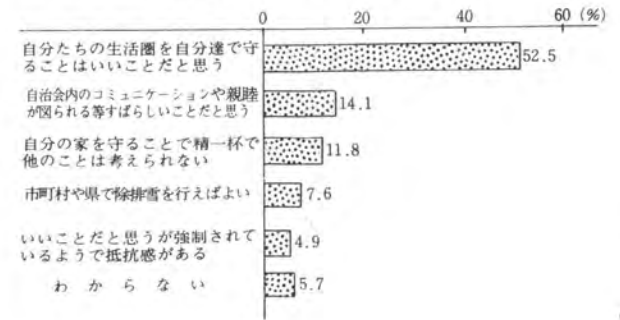


図3 ひとり暮らし老人等の世帯の除排雪について

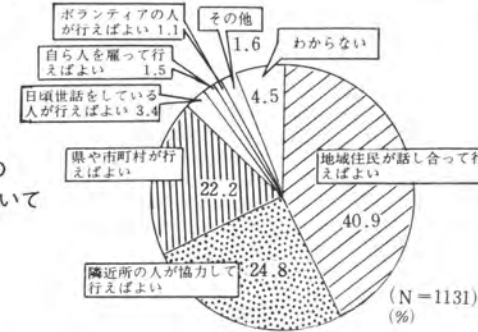


図4 青果物・鮮魚類などの数量の状況

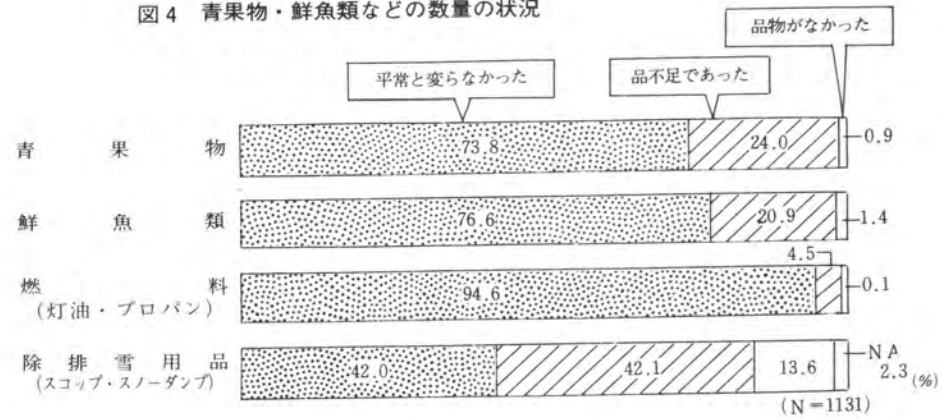
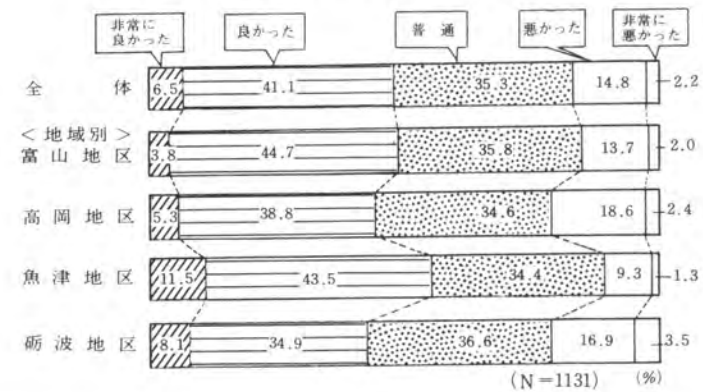


図5 幹線道路の除雪状況



価格も安定しており、消費生活 県では、県外産に頼らざるを得ない青果物などは、産地に出ただ、除排雪用具については需要が集中したため、一時的に品不足や価格上昇がありました。

また、夏以来、灯油の価格が上がっていましたが、為替相場場の安定や石油備蓄の増加などで、安定しており、今後は小康状態を保つものと考えられます。除雪を強化します。

### 除雪サービスの向上

国道や県道など幹線道路の除雪については「よかった」「非常によかった」とする人が約半数、除雪については高い評価をいただいたようです。(図5) 今後の道路除雪は「もっと強化する」「消流雪の設置箇所の増強」「路上駐車の手取りりの強化」が上位を占めています。

### 今冬の除雪計画

さて、みなさんにとって一番気になるこの冬の除雪計画ですが、次のことを重点に道路交通を確保したいと考えています。

## あらゆる角度から雪を研究

### 総合雪対策研究会議

ところで、県では雪対策についてあらゆる角度から調査研究しようとして「富山県総合雪対策研究会議」をことし六月に発足させました。この研究会議には次の四つの部会を設け、それぞれ



▲ことしはロータリー除雪車などを増やしすでに臨戦体制が整っています

### こんなことをしています

- 技術開発部会
  - 県下全域に及ぶなだれ発生危険地域の調査と対策
  - 雪に強い果樹・園芸施設、消雪方法の調査研究
  - 冠雪林の調査研究
  - 税・財政金融部会
    - 56年豪雪では一世帯当り七万五千円の雪処理出費があったこと

- 雪に強い建築構造の研究
- 公共輸送機関の利用向上対策
- 行動計画部会
  - 地域ぐるみの除排雪運動の推進
  - コミュニティ組織の育成と助成
  - 要援護世帯に対する救護
  - 交通の確保
  - 豪雪時の諸対策

## 「雪仕度」はお済みですか？

このように、県ではあらゆる角度から雪対策を研究しているわけですが、みなさんのご家庭では冬仕度ならぬ「雪仕度」は

これらの調査研究の結果は、実施できるものから今冬に生かしていきたいと思っています。

### 雪に備えて

- 大根や白菜など保存できる野菜は、豊富に出まわっている時期に買っておきましょう。
- スコップやスノーダンプなど

- 家の外囲りの点検、補強をしましょう。

### 雪が降ったら

- 「自分の雪は自分で始末」が原則です。事故やケガのないよう無理のない安全な作業を心がけましょう。
- 雪おろしは、早め早めにした方が安全で能率的です。
- 万一に備え、家のまわりに通行できる箇所を二つ以上確保しましょう。また、消防車や救急車などの進入路を必ずつくっておきましょう。
- 排雪は他人に迷惑をかけないように。



▼幹線道路の交差点などは拡巾除雪で広く使えるように

- 排雪場所や排雪方法について、地域の人たちと話し合っておきましょう。
- 近所に身体の不自由な人や、一人暮らしのお年寄りの世帯はありませんか。まわりの人たちが助け合って除雪に協力しましょう。
- 子供の遊び場は安全ですか。軒下や川のそばでは遊ばせないように。
- 路上駐車は交通の障害だけでなく、除雪の大きな障害になります。路上駐車をしないようにしましょう。
- マイカー利用は必要最少限にしましょう。



# 第9回 富山市 観どころ味まん

## 県民会館内山分館

人口三十万の県都富山市。前田利次公の城下町として、常に産業、経済、文化、交通の中心をなしてきました。



幕末の豪農の姿を今に伝える内山邸

この富山市郊外にある内山邸をごぞんじのかたも多いと思います。内山家は、富山藩時代に十村役（大庄屋）を勤め、最盛期には千七百石の大地主でした。現在まで六十七代に及ぶとも伝えられ、歴代の当主は神通川のはららん原野の開墾に努め、地域の勧農、治水にあたり、新しい農業技術の導入にも努力したこのことです。

幕末の慶応四年（一八六八年）に建てられた内山邸は、瓦葺き切妻造りの一部木造二階建てで、座敷まわりは奥座敷、中座敷、大広間から構成され、藩制時代の伝統を受け継いでいます。また、広大な庭園には樹齢百年を超える古木や種類の豊富な庭木、名石などが配置され、深遠な趣きをただよわせています。

この内山邸は、県民会館の分館として開放されていますが、あなたもここで茶会など催して、かつての豪農の生活をしのんでみてはいかがでしょうかでしょう。

庭園も見どころのひとつ庭木名石が深遠な趣きをただよわせる



■利用案内

開館時間 / 午後9時～午後4時  
 休館日 / 毎週火曜日、年末年始  
 観覧料 / 一般100円、児童・生徒50円  
 申込先 / 県民会館受付(0764)32-1111

室名	畳数	施設使用料金	
		9:00~12:00 13:00~16:00	9:00~16:00
中座敷	15	1,000 <sup>(円)</sup>	1,900 <sup>(円)</sup>
台厨の間	15	1,000	1,900
奥座敷	12.5	900	1,800
外川の間	8	600	1,200
書院	8.6	1,100	2,100
茶室	4.5, 4.5	800	1,600
ク	7.3	800	1,400



内山邸で点てるお茶もまた格別





▲ソーシャル・セントラム(養護老人ホーム)の老人を慰問

▼パリで現地婦人を招いて交歓会を開く



▲フランクフルトでのホームウイジットでドイツ民謡をうたう



▶富山駅を元気で出発する団員たち

▼東ベルリン中心部の巨大なレーニン像



# 青年 成長しました 遣事業を終えて リーダーに ことしの海外派 婦人



▲東ベルリンからの越境を果たせなかった市民を悼む十字架



▶出発直前のホームで仲間と語り合う  
ホームステイ家族とのパティーで、おわら節を披露



▶子供たちの遊園施設を訪問



▶田園地帯の象徴である風車



▼ハイデルベルグのまちを散さくする団員



▶青年のリーダーとして成長した団員たち(右から二人目は中沖知事)

## ホームステイを経験して

青年の翼 一般部門

田中一枝

私たちが泊ったお宅は西ドイツのクロンベルグという所で、国鉄へ動めておられるシュミットさんの家でした。

シュミット家はご夫婦だけの生活で、とても楽しいご主人と、細かい心くばりをして下さる奥さんと、本当にすてきなお二人でした。片言の会話で意志が通



▲シュミット家を訪問した田中さん(右から二人目)

れた時、シュミットさんは「体に障害を持っていることは別に問題ではない。ただ、心に障害を持っていることが大切なのだ。」

## 住みよい社会をつくる努力

第一回 婦人の翼

川瀬律子

私たちが訪れたのは、十八歳から五十八歳までの心身障害者(ほとんどが先天性)の施設で、ちようどその日は、入所者たちがおもちゃ、家具、電気機器の部品など、適性にに応じていろいろな作業に従事しているところでした。



▲西ドイツの障害者作業所で所長の話に聞き入る川瀬さん(右から四人目)

に語られたのが印象的でした。作業所で生き生きと仕事に励んでいた人々の姿、帰りのバスが見えなくなるまで手を振ってくれた作業所の人々の姿が、今も心にやきついています。

「明日を拓(ひら)く人づくり」を施策の柱の一つにしている富山県では、「青年の翼」(一般・農業部門)と「婦人の翼」を海外に派遣しました。

「青年の翼」(一般部門)は西ドイツ・オランダへ、「婦人の翼」は西ドイツ・フランスを訪れ、それぞれ、視察、ホームステイ(各家庭での生活体験)や現地の人々との交歓を行いました。

また、「青年の翼」(農業部門)の一行はアメ

リカ・カナダの農場に滞在し、ファームステイ、現地の大規模な農業経営を体験してきました。

団員たちは、各地域における青年、婦人活動のリーダーとして必要な国際的視野、学ぶべきものが多い農業経営の体験など、数多くのみやげを携えて帰国したのですが、各部門の管理部門の同行紀を通して、彼らの活躍ぶりをご披露いたしましょう。

## 現地の若者と積極的に交流

青年の翼  
一般部門

### うるおいと落ちつきの国ドイツ

ドイツを旅して感じるのは、うるおいと落ちつきです。アウトバーン(高速道路)の車窓に流れる風景は、どこも牧歌的のんびりしています。集落は、

### 心がかよう福祉

全て教会を中心に出ています。それが、大海原のうねりのようになだらかに起伏して地平線まで広がる平野のそこかしこに、あたかも小島のように点在しています。

ライン河近くの丘の上にあるオーパーペーゼルのユースホステルは、うっそうと茂った樹木の中に建っていました。四年前に建てられたというその施設は、身体障害者用の各種の設備を完

備しているのが特徴です。福祉施設の整備が進んでいるドイツの中でも、とりわけ立派というだけあって、水中マッサージ機、屋内温水プールの中の電動リフトなど、いたれりつくせりの気

の配りようです。所長のボーラーさんが、種々の設備を誇らしげに案内しながらも、「本当の福祉とは、身障者と健常者が自然に交流することなんですよ。」と言った言葉が印象的でした。

### ロマンに満ちた街ハイデルベルグ

ハイデルベルク、フランクフルトから車で約二時間ほどのこの街は人口十六万人。かつてゲートが絶賛したように、それは美しくロマンに満ちあふれる街でした。一行はドイツでの滞在の一日をこの歴史の街で過ごした。街はずれの丘の上に建つ中世の古いお城、街の中を流れる

を共にするわけですからその不安はいかばかりか想像できません。雨の中を団員たちがホームステイ家庭に引きとられて一人一人、夜の帳の中へ消えて行く。そんな感傷的な情景に役員からは思わず「ガンパレヨ」と声が飛ぶのでした。

るネカー川、中世風の建物、そして、あの有名なハイデルベルク大学。どれも古いドイツを彷彿(ほうふつ)とさせるものばかりです。団員たちは皆思い思いに、それぞれのロマンを求めて終日この美しい街を散策し、また、あちらこちらで現地の青年と交流する光景が見られました。中世の古いお城、街の中を流れる

### ふれあいを感じたホームステイ

一行は、ドイツのウイスバーデン、ミュンヘンそしてオランダに分かれ、それぞれ五、六日のホームステイを行いました。

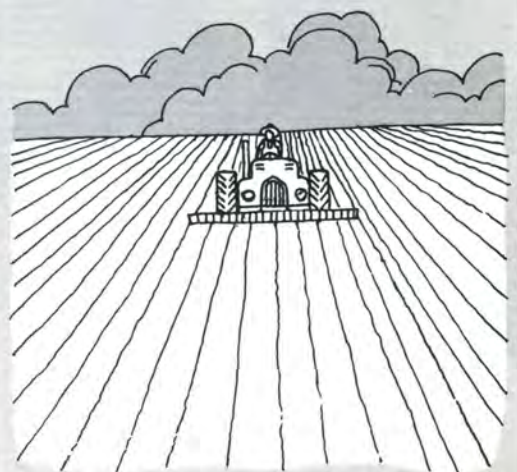
### 花の国オランダ

ある女性団員が「今から引きとられていくの」とつぶやいたように、ホームステイに入る前は、皆一様に不安があったようです。右も左もわからない、言葉もろ

くに通じない、そんな中へ飛びこんで五、六日現地の人と寝食を共にするわけですからその不安はいかばかりか想像できません。雨の中を団員たちがホームステイ家庭に引きとられて一人一人、夜の帳の中へ消えて行く。そんな感傷的な情景に役員からは思わず「ガンパレヨ」と声が飛ぶのでした。

窓の外に向けて飾ると聞いて二度ビックリです。オランダの国土の四分の三は、オランダ人自身の干拓によって造った土地です。それだけに国土を愛する気持ち

## 青年の翼農業部門は



アメリカ、カナダへ

### 大きいスケールと厳しさが印象的

十月十六日、団員たちは期待と不安を胸に、アメリカ・カリフォルニア州のファームステイ家庭に配置されました。

農家の経営は稲、酪農、果樹などの栽培でした。稲作中心の農家では、ちょうど晩生稲の刈り取り時期で、団員たちは大型コンバインによる刈り取りや運搬などを手伝いました。また、酪農を営む農家では、何千という乳牛を飼育し、一貫して機械化が図られています。

各農場で、団員たちはその経営規模の大きさに驚くと同時に、機械化された合理的な経営には、とても多くのものを学びました。また、農場主は、農場での実習や研修だけではなく、農業施設や研究所などにも案内してくれ、この親切さには「感謝、感謝」の連続でした。

一般に日本人は働き者などといわれますが、団員たちも御多分にもれずよく働き、熱心に学習したわけですが、これに感心した農場主からは「ファームステイの期間をもっと延長してくれ」との声をよく聞きました。

### ファームステイのおもいで

青年の翼 農業部門 荒木 実

カリフォルニア州サンフランシスコ近くの白人農家で、十日間のファームステイを体験しました。

ボスは、顔じゅうヒゲを伸ばし、威厳のある方でした。家族は四人で、経営は養蜂が中心。乳牛、ヒツジ、ニワトリ、アーモンドなどは、自家用だけです。私たち二名には別棟の一室を与えられました。リビングルームには、ピアノとドラム、ステレオそれに暖炉があり、家具は古い物を大切に使用しています。驚いたことに、どの部屋にもメインの照明がなくスタンドだけで、必要な時だけ使用していました。町のレストランへ行っても、暗い所で、食事をとると、実に快適でした。

がより一層強く、自らの国土を花で美しく着飾ろうとするのでしようか。

また、オランダの人々は、花

のように明るく陽気です。ホームステイ家庭との交歓パーティーなどは時の経つのを忘れるほどに盛り上がり、お互いがユーラ

シア大陸の東の端と西の端の住人であることを感じさせないほど打ち溶け合います。

ています。地域ぐるみの福祉とその原動力となっているボランティアの姿を見て、コミュニケーションづくりの大切さを痛感しました。

はミッテラン政権にかわってから新設された役所で、大臣もちろん女性。当面の目標として次の三つを掲げていました。

# ポランディア先進国を訪問 婦人の翼

## 森の国ドイツは福祉の国

八月二十七日、フランクフルト空港に降り立った時は、時差

にともどいなながらも、団員一同緊張しました。郊外を走るアウトバーン（高速道路）のすばらしさ

進法のあるこの国では、十六歳から二十五歳までの青年がポランディアとして六ヶ月以上施設に入り、介護、家政、教育などの仕事に携わる場合には住居、食事と少額の小使いなどが国から支給されます。

その翌日、直接市民の家庭生活を見聞するために、私たちは六班に分かれてホームヴィジット（家庭訪問）しました。

フランスでは、男性にも育児休業が与えられているのですが、とる人が少なく女性だけに育児の責任がかたよりがちです。

二日目、私たちは三組に分かれて共同ポランディアを行いました。その施設の一つ「ソール・ヤル・セントラム」は養護老人ホームで、住居、集会所、病院が共存しており、一方では、身障者が家族と一緒に入居したり、住民が医療施設を共用したりし

食生活の面でも、ドイツはとても質素でしたが、自家製ケーキが家庭の象徴であるといわれる通り、どの家庭でも自宅で焼いた巨大なケーキで歓待してくれました。

翌日訪れた民間の有識者団体、「婦人調査情報センター」は、「未来女性」ともいわれ、女性がすべてについて自由に、そして自分の運命を自分の手で拓いていくことを目標に、幅広く活動していました。



▲フランクフルトでのホームヴィジットで手作りのケーキをいただきながら歓談

## 女性問題は世界共通

ドイツでは、フランクフルト市を中心に活動しました。ポランディア活動促進

八月三十一日、ドゴール空港からパリに入りました。車窓から見える建物の厚さは、さすがに芸術の都、歴史の重みと文

化遺産への愛着が感じられました。私たちは、フランス女性の権利担当省へ直行しました。ここ

あらためて女性問題の共通性、国際的な連帯の必要性を痛感しました。

# シリーズ④ 特産の里紹介

## 干柿

福光町立野が原

福光の干柿は、今からおよそ三百年前、加賀二代藩主前田利長公が、河川のはん濫で荒

廃した領内に柿の植栽を奨励したことが始まりと伝えられています。当時は、串柿やさわし柿として貧しかった農家の食生活に潤いを与え、農業経営を支えてきました。

長い歴史をもつこの柿は、主

富士市の白ねぎ



として田のあぜに植えられていたが、昭和四十年ころから始まった水田の基盤整備で、先祖伝来の古木はほとんど伐倒され、これに代って立野が原を中心

神通川によって運ばれた深い砂質土壌地帯で、従来からもねぎ作りの盛んな所で「宮尾ねぎ」の選抜された由緒ある産地でもあります。



十一月初旬ころから田に建てられた「はさき」に皮をむいてつるし、晩秋の日差しと「医王山おろし」の寒風にさらす。この独特の干柿製法も昭和四十六年ころからモダンなガラス張りの干柿乾燥施設に変わり、南砺地方の風物詩として親しまれてきた「柿ばさき」も、今ではわずかに面影をとどめる程度になっています。

近年、ねぎは年間を通じて利用されるようになり、金山新では春四月から七月はじめは青ねぎ、七月から十二月は白ねぎを出荷するなど、年間を通じた培を行っています。

特に、秋冬ねぎは本県の気象風土に適し、繊維質が少くて軟らかく、風味の良いことで定評があります。主な出荷先は富山市場のほか中京・京阪神方面で、好評を博しています。

## 白ねぎ

富山市金山新

富山の白ねぎは、神通川の河口に近い金山新のほか数集落でつくられています。この地域は、

秋ぎくは、八月末になると短日に反応して花芽ができ、十一月はじめに花を開くのが普通ですが、八月下旬から十月はじめまで、日没から数時間明りをあけると花の時期が遅くなります。

富山・金沢へ出荷され、人々の心をなごませています。

## 電照ぎく

福野町

現在、十二戸の農家で十二万平方メートルの電照ぎくを栽培し、二月始めから正月にかけて二十

電照ぎくは、きくの開花の生理を利用して花の咲く時期を遅くしたものです。福野町のビニールハウスは、八月下旬から十月にかけての日没時には電灯が一斉に輝き、一大景観を見せてくれます。

# 小・中学生の力作が勢ぞろい 私たちの壁画展

県立近代美術館——1月5日～1月31日

です。七月から十月までの四カ月を費して完成した作品は、美術館の展示壁面を十分に埋めつくすほど大きなもので、自由なテーマのもとに各校とも本図にとりかかるといっても下図を書き直し、構図の段階から熱心に取り組みました。児童、生徒たちは、壁画の共同制作を通して一人一人の個性を十分に発揮しています。



「こうしたらどうか？」みんなで知恵を出し合って……

## 工業統計など

### 三つの調査が行われます。

通産省では、工業統計調査、商鉱工業エネルギー消費構造統計調査、工業実態基本調査の三つの調査を全国一斉に行います。調査日は十二月三十一日で、各調査の内容は次のとおりです。

○工業統計調査  
わが国の工業の実態を明らかにする目的で、製造業に属する事業所を対象に行います。調査票には従業者数、原材料使用額、製造品出荷額などを記入していただきます。

○商鉱工業エネルギー消費構造統計調査  
エネルギー消費の実態を明らかにして、省エネや石油代替エネルギーの導入など、行政施策を進めるのに必要な基礎資料を得ることを目的に、中小企業施策の基礎資料を得ることを目的にした標本調査で、通産大臣が指定した製造業を営む企業です。

○工業実態基本調査  
わが国の製造業を営む企業の実態を把握し、中小企業施策の基礎資料を得ることを目的にした標本調査で、通産大臣が指定した製造業を営む企業です。

☆ ☆  
これら三つの調査については、今月の中旬ごろに調査員が調査票を持ってうかがいますので、ご協力をお願いいたします。

小杉町/小杉  
福光町/吉江  
利賀村/利賀

- △出品校▽
- 小学校  
富山市/奥田、神明、東部、堀川、山室  
高岡市/定塚、南条  
魚津市/上野方、経田、南加積  
氷見市/湖南
  - 中学校  
黒部市市/三日市  
小杉町/黒河  
城端町/城端  
福野町/福野  
八尾町/八尾  
富山市/芝園、南部、北部、  
高岡市/志貴野

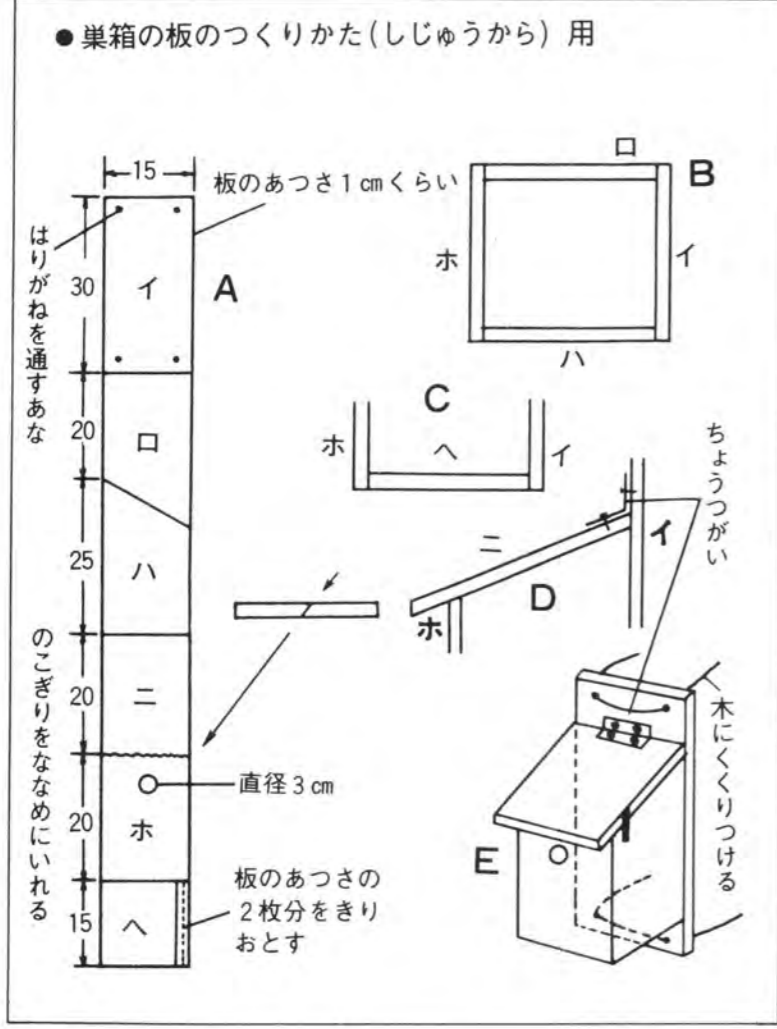
## 野鳥たちにマイ・ホームを 簡単な巣箱の作り方

野鳥たちのために巣箱をつくり、ことしのうちに木にかけたらいかがでしょうか。巣箱というのは、木の幹に穴をあけて巣をつくらせている野鳥が主に利用するのですが、その種類によって穴の大きさ、中の広さ、底の深さが違います。で

すから「大は小を兼ねる」というわけにはいきません。ここで最も一般的なヤマガラ、シジュウガラ兼用の巣箱の作り方を紹介します。

基本的な各部の寸法があれば、素材や形を自由に変えて楽しい巣箱にしたいものです。作る際に特に気をつけたいのは、板の

合せ目から光や雨水が入らないようにし、色を塗ったり止り木をつけたりしないことです。次に取り付けますが、巣箱は木の茂みの中に付けてはいけません。枝のない太い幹にしっかりと取り付けます。また、ヘビがほかの幹から移って来ないか、登って来ないかなど細心の注意をはらうことも必要です。



繰り上げ減額率	
受給時の年齢	65歳で受けるべき年金額に対する減額率
60歳以上61歳未満	0.42
61歳 ♪ 62歳 ♪	0.35
62歳 ♪ 63歳 ♪	0.28
63歳 ♪ 64歳 ♪	0.20
64歳 ♪ 65歳 ♪	0.11

**国民年金 繰り上げと繰り下げ どちらを選びますか？**

国民年金の老齢年金と通算老齢年金は、六十五歳から支給されます。しかし、六十歳から六十五歳の間に支給を受けたいときは、繰り上げて受けることができます。

ただし、その場合はこの年金額は別表のとおり、一生涯から四二歳も減らされたものとなります。なお、繰り上げの年金を受けると、年金は一生減額されたままで、取り消しができません。繰り上げて請求されるときはよく考えましょう。

また、事前に申請して六十歳から七十歳までの間に支給を始める、年金額が十二歳から八十八歳も増額される「繰り下げ支給」というしくみもあります。

くわしくは、市役所または町村役場の窓口でお問い合わせください。

# 自然食品、健康食品は必要か？

こちら  
消費生活センターです

相談  
☎(0764)32-9233(富山)  
☎(0766)25-2777(高岡)  
テレフォンサービス  
(0764)41-0999による、消費生活情報の提供

シリーズ ⑨

ここ数年来、健康に対する関心の高まりとともに「自然食品」「健康食品」が話題になっています。これらの食品の中には、食品添加物を使用しているにもかかわらず「天然」「自然」と表示されているものや、病気の治療や予防を示唆するような売り方をしているものなど、問題のあるものもあります。そこで、消費生活センターに寄せられた相談を通して自然食品、健康食品について考えてみました。

## 相談

東京の友人から自然食品というのでお茶を送ってもらい、ずっと飲んでいました。ところが、最近になって味に疑問をもつようになりました。送料を含めて二、三千円もするのですが、化学調味料が入っているようです。

## 回答

緑茶中にはタンニン、アミノ酸、カフェイン、糖など種々の成分が含まれています。化学調味料として使用されているグルタミン酸ソーダはこのうちのアミノ酸の一種で、よいお茶ほどたくさん含まれており「うま味」を出しています。申し出のお茶を検査したところ、自然に含まれる量をはるかに上回る多量のグルタミン酸が検出されました。しかし、お茶に化学調味料を添加してはな

らないという規制はなく、添加されること自体は違反ではありません。ただし、自然食品と銘打って化学調味料を加えたお茶を売ることは、消費者を欺くものであり問題です。

申し出者には以上のことを伝え、販売店などの指導が必要であることを話しましたが、センターの介入を断わったため、自然食品と呼ばれるものへの過信は禁物だということをお話して注意をうながしました。

## 相談

知り合いから「健康によいから」と、たんばく質、ビタミン、カルシウムなどの補給を目的にした健康食品を、一セット（八品）三万六千円ほどで勧められています。本当に効果はあるのでしょうか。

## 回答

申し出者の健康食品は錠剤状

のもので、医薬品的な効果を期待するむきもありますが、健康食品はあくまでも「食品」であって、医薬品的な効果を期待す

ることはできません。また、一セットで一カ月分くらいあるとのことですが、食品としてはずいぶん高価な買い物だといえます。

高価な健康食品に頼るよりは、バランスのとれた食生活を心がける方が賢明ではないでしょうか。

# 定義があいまいな「自然」「天然」

自然食品、健康食品については、はっきりした定義があるわけではなく、トラブルの原因になっています。食品添加物さえ入っていないければ自然食品と呼べるのか、農業そのほか一切の化学物質によって汚染されないものまで求めるのか定義がむずかしく「天然」「自然」という表現自体をやめればよいという声も出てきます。

また、健康食品と呼ばれるものの中には、古来伝承的な民間薬としてその薬理作用が認められているものもいくつかあります。

- ① 健康は、バランスのとれた食生活と適度な運動によって維持されるものであることを知りましょう。
- ② 健康食品は、医薬品でなく食品だということを念頭におきましょう。
- ③ 他人の身体に合うものでも、それが自分に合うとは限りません。
- ④ 「自然」「天然」と銘打った食品が、ほかの市販品とどう違うのか、よく調べて買いましょう。
- ⑤ 大量買いは避けましょう。

## お問い合わせ

・富山県消費生活センター  
(県民会館四階)  
☎(0764)32-9233

・富山県消費生活センター高岡支所  
(本丸会館一階、旧市役所跡)  
☎(0766)25-2777



### 10月17日

#### ☒林道大山～福光線を起工

県の南部を横断する大規模林道大山～福光線の起工式が利賀村で行われました。この林道は大山町小見から大沢野町、細入村、八尾町、利賀村、平・上平村、城端町を経て福光町刀利へ抜けるもので総延長146.8キロ、全線開通は65年度の予定です。

### 10月21日

#### ☒高等教育機関整備へ推進委員会発足

県内高等教育機関（大学、短大など）整備を検討する富山県高等教育機関整備推進委員会（委員長・豊田文一元金沢大学学長）が発足し、この日、初会合を開きました。

この委員会では、有数の進学県でありながら、大学収容率が全国最下位に近い富山県の現状を打開するため、県内収容率を高めることを当面の課題に、既存大学の拡充や新設、誘致のための対応策を検討することになっています。

### 10月21日

#### ☒県人口の高齢化進む

昨年10月1日に行った国勢調査の第1次基本集計結果がまとまりました。

これによりますと、県人口は110万3,459人（50年比3.1%増）で、男53万2,686人、女57万773人となっています。また、65歳以上の老年人口は12万3,407人で、全体の11.2%（全国平均9.0%）となり、この5年間に21.9%の大幅な伸びを示しています。



▲大山～福光線の起工式でクワ入れを行う中沖知事

井波町で里芋の収穫状況を視察する中沖知事

### 10月26日

#### ☒庄川、井波で「語るつどい」

第6回目の「知事と語るつどい」（庄川・井波両町合同）を井波町社会福祉センターで開催しました。このつどいには約300人の方が参加され道路整備、雪対策、大学の誘致などについて意見交換を行いました。

また、この「つどい」に前後して行われた「まちまわり」で、知事は地元企業、里芋の収穫状況、ほ場整備、マーシ園などを視察しました。



### 12月街頭献血日程

月日曜	場 所	時 間	月日曜	場 所	時 間
12/ 1(火)	立山町役場前	10:00～15:30	12/19(土)	魚津サンプラザ前	10:00～15:30
5(土)	富山駅前	10:00～16:00	19(土)	高岡駅前	10:00～15:30
5(土)	高岡駅前	10:00～15:30	26(土)	富山駅前	10:00～16:00
12(土)	富山駅前	10:00～16:00	26(土)	高岡駅前	10:00～15:30
12(土)	高岡駅前	10:00～15:30	27(日)	高岡駅前	10:00～15:30
13(日)	富山西武前	10:00～16:00			



### 11月2日

#### ☒県政功労者などを表彰

今年度の県政功労者、文化功労者、教育功労者の表彰を行い、中沖知事、松倉教育委員長職務代理者が、表彰状と記念品を贈りました。

この日受賞されたのは、県政功労が51個人、4団体、文化功労が5個人1団体、教育功労が28個人17団体でした。

### 11月4日～

#### ☒日本画の力作84点を公開 県立近代美術館

近代美術館の開館記念シリーズ第3弾「現代日本美術の展望—日本画」展が始まりました。

これは、日本画の分野で注目すべき制作活動を行なっている作家50人の作品84点を展示したもので、会期は12月20日までになっています。

### 11月10日

#### ☒北陸新幹線を最優先

110万県民が熱望している北陸新幹線の優先着工が、この日開かれた自由民主党の四役会議で決定されました。

### 11月11日

#### ☒松川を美しく 水質審議会が答申

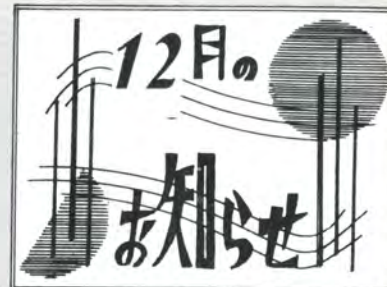
富山県水質審議会は、富山市中心部を流れる松川浄化のため、環境基準をBOD(生物化学的酸素要求量)を3PPM以下に抑えるという県の諮問案を了承し、知事に答申しました。

これは、建設省富山工事事務所が来年度から2カ年で、毎秒2リットルずつ神通川から導入し、松川を浄化しようとしているのに併せたもので、5年以内の達成目標となっています。

### 11月12日

#### ☒身障者雇用率は1.45%（県内）

県では、ことし6月1日現在の身体障害者雇用状況をまとめました。これをみますと、身体障害者を1人以上雇用する義務のある企業(442社)の平均雇用率は1.45%で、法定雇用率(1.5%)には及びませんが、昨年比で0.09%上昇し、過去最高の伸び率となったことがわかりました。



#### ●国際障害者年記念大会

今月の九日、富山市の県民会館で「富山県国際障害者年記念大会」が開催されます。この1年、障害者の〈完全参加と平等〉という目標に向けて、さまざまな取り組みがなされたわけですが、この大会は、1年間を振り返り、来年以降へ向けて新たにスタートしようというものです。

日時 12月9日(木)午前10時  
会場 富山県民会館  
内容 障害者問題について語る会(分科会)  
ふれあいのプロムナード  
記念式典  
記念講演  
「きれいごとの福祉か  
ふだんぎの福祉か」  
講師 ないだ氏

#### ●中小企業向け年末節季資金の融資案内

- ・融資限度額/300万円(組合は1,000万円)
- ・融資利率/年7.3%以内
- ・融資期間/5ヵ月以内
- ・申し込み/12月31日までに県内の金融機関へどうぞ

#### ●農業近代化資金に新たな資金が追加

地域農業再編整備資金一年利率4.0%  
計画的な地域農業の再編整備に必要な施設や設備が対象です。  
詳しくは最寄りの農協へどうぞ。

#### ●自衛官募集

区分/2等陸士・海士・空士  
資格/18歳以上25歳未満の男子  
受け付け/随時  
問合先/各市町村または以下へ  
自衛隊富山地方連絡部 ☎富山41-3271  
富山自衛隊募集事務所 ☎富山41-8782  
魚津 ☎魚津24-1036  
高岡 ☎高岡21-2411  
砺波 ☎砺波3-2392

※11月21日～21日 21日～21日 21日～21日 21日～21日 21日～21日 21日～21日 21日～21日 21日～21日 21日～21日 21日～21日

1日～25日  
歳末助け合い運動  
1日～28日  
食品の年末一斉収縮月間  
食品衛生には十分注意しましょう。



昭和53年開校したしらとり養護学校

## 心身障害者 福祉施設・学校紹介 8



まずは体の機能回復からと元気いっぱい……

しらとり養護学校では「明るく、仲よく、元気よく」をモットーに、児童生徒一人一人が自ら心身の障害を克服し、進んで社会に参加できるよう、明朗で協調性に富む健康な子供の育成に努めています。

しらとり養護学校では「明るく、仲よく、元気よく」をモットーに、児童生徒一人一人が自ら心身の障害を克服し、進んで社会に参加できるよう、明朗で協調性に富む健康な子供の育成に努めています。

県立  
しらとり養護学校  
婦負郡婦中町下邑2877  
☎(0764)9-5531

ら心身の障害を克服し、進んで社会に参加できるよう、明朗で協調性に富む健康な子供の育成に努めています。

職場実習に励む高等部の生徒たち  
こうとするもので、婦中町内の企業で、その職員らに混った生徒が、実習に精を出しています。



### 入学するときは

入学を希望されるときは、市町村の教育委員会か児童相談所にご相談下さい。また、学校でも就学や教育についての相談に応じています。

# みなさんと県庁とのパイプ役

広報課では、県民のみなさんと県庁との大切なパイプ役として、この月刊誌「県広報とやま」のほかテレビ、新聞などを通じて県の事業の紹介や生活に欠かせない情報を提供しています。また、県民相談室や県政バス教室、知事と語るつどいなどを通じてみなさんのご意見や要望をお聞きしています。



## 12月のテレビ



### KNB「こんにちは富山です」

毎週 日曜日  
午前8時～8時30分

放送日	番組(予定)	内容
12.6	県民の知恵紹介	県づくりは県民自らの手によってという考えで募集された県民の知恵は応募件数835にのぼりました。12月3日に行われた「県民フォーラム」の様相とともにこの県民の知恵の一部を紹介いたします。
12.13	雪に負けない 県土づくり	56年豪雪の教訓を生かし、雪利用の恒久的モデル対策を旨とする総合雪対策研究会の中間答申を踏まえ、今後の除雪基本計画についてもふれる。
12.20	消費生活アラカルト	ここ数年、消費生活センターにおける相談件数は急増しています。年末を控え、訪問販売トラブルなど、目立った事例を紹介いたします。
12.27	あすを拓く(シリーズ)	将来の展望をひらくために努力している人物・グループの紹介。
1.3	知事と語る	新春対談番組

### 富山テレビ放送「110万人のひろば」

毎週 日曜日  
午前9時～9時30分

放送日	番組(予定)	内容
12.6	犬アラカルト	来年は「犬年」。これにちなんで県内の犬にまつわる話題をいろいろ集めます。
12.13	冬の海はサーファーの季節	富山のサーファーにとって、波の荒れる冬こそがサーフィンシーズンです。寒さをものともせず冬の日本海に挑む彼らの心意気、サーフィンの魅力をレポート。
12.20	飯田先生の教育相談	小学校の校長である飯田先生が、教育問題についてみなさんと一緒に考えます。
12.27	福祉マップ	障害者福祉のまちづくりとして、公共施設などの整備が進められています。社会福祉協議会が中心になって、これらの施設の案内図を作成したのですが……。
1.2	新春対談	

### 新聞広報

#### みんなの県政

毎月最終土曜日に、北日本、富山、読売、北陸中日の4紙に掲載しています。このうち、4・7・11・1月(予定)の4回は見開き2ページを使って掲載します。

#### 県からのお知らせ

朝日、毎日、毎日第2、最終土曜日に、北日本、富山、読売、北陸中日は毎月第2土曜日に掲載しています。

#### 県政についてのご相談は……

県民相談室	富山市新総曲輪1-7(県庁内) ☎富山31-4111(代) 31-3131(県民電話・直通)
高岡地方県民相談室	高岡市赤祖父211(総合庁舎内) ☎高岡21-9411
魚津地方県民相談室	魚津市新宿10-7(総合庁舎内) ☎魚津24-5311
砺波地方県民相談室	砺波市幸町1-7(総合庁舎内) ☎砺波3-5151



# あなたは冬山登山の適格者か!?

冬山は、天候が変わりやすく、毎年のようになだれ、滑落、凍死など悲惨な遭難がくり返されています。冬山登山をされる人は、次のことに十分注意してください。

○ 登山ルート、危険カ所、気象による変化などをよく研究しましょう。  
○ 日程、食糧、装備などは、最悪の事態に

対処できるだけの余裕を持たせましょう。  
○ 基礎体力を養うため事前のトレーニングに励み、耐寒、耐久力の保持に努めましょう。

○ 危険箇所ではザイルを使うなど、慎重に行動しましょう。

## 遭難事故が多発

### 冬山登山には万全の備えを